



柔構造プレキャスト樋門は、工期の短縮、品質の向上、トータルコスト縮減など様々な可能性を持つ構造形式の樋門として期待されている。

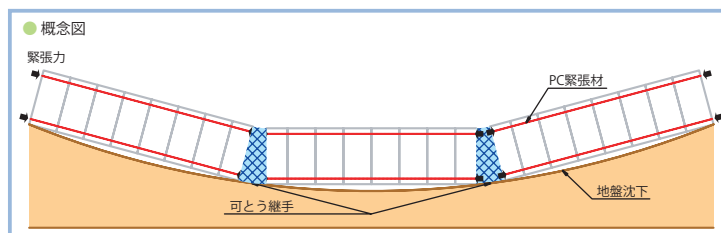
変形性能の大きな可とう継手を使用する剛接合方式とCRゴムを用い、より地盤変形に追随できる弾性接合方式があり信頼性の高い樋門を築造することが可能です。

樋門樋管工法の種類と設計条件

構造形式

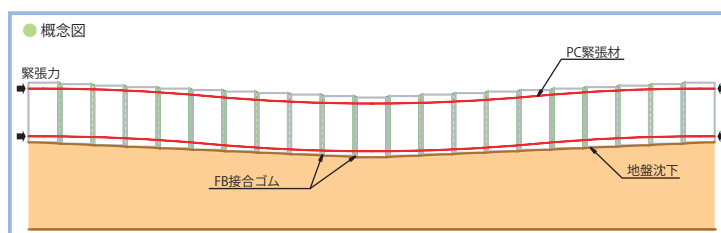
1 剛接合方式

緊張材によって一体化された函体群を可とう継手によって接続し、可とうゴムの変形性能により地盤の変形に追随させようとした構造である。



2 弾性接合方式

函体1本ごとにFB接合ゴム(CRゴム)を挟み込み緊張材で一体化させ、ゴムのせん断変形により、地盤の変形に追随させようとした構造である。



製品規格と設計条件

構造による区分	規格断面数	呼び名区分	適用最大土かぶり
RC 函体・PC 函体	24	1000 x 1000 ~ 3000 x 3000	12.0m 以下

※上記規格以外の断面については、ご相談ください。

- コンクリートの設計基準強度…………… $f'_{ck}=40\text{N/mm}^2$ 、 50N/mm^2
- 最小部材厚…………… 200mm
- 鉄筋の最小かぶり…………… 30mm
- 鉄筋の種類…………… SD345
- 最小鉄筋径…………… D13